

**NOT FOR  
PUBLIC RELEASE**

お嬢様はドM

第3部 完結編。

**NOT FOR  
PUBLIC RELEASE**

S  
M  
小説

お嬢様はドM

第三部 〈完結編〉

NOT FOR PUBLIC RELEASE

あふらぐ著

荒縄工房・発行



**NOT FOR  
PUBLIC RELEASE**

本作品はすべてフィクションであり、実在する人物・地名・団体とは一切関係ありません。また、特定の個人、団体、宗教、人種、性別などを誹謗中傷する意図はありません。

あんぷらぐ

雑誌に「仲ゆうじ」名でSM小説を執筆して作家活動をスタート。後、編集の仕事に携わる。九〇年代よりネットで複数のペンネームで小説を執筆。二〇一一年「荒縄工房」よりあんぷらぐど名義で独自の自虐的SM、一人称による告白形式の作品、伝奇SM小説などを発表し続けている。二〇一九年あんぷらぐに改名。東京在住。

**NOT FOR  
PUBLIC RELEASE**

目次

|     |     |    |     |     |     |    |     |     |    |     |    |    |    |      |    |     |    |     |    |        |   |
|-----|-----|----|-----|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|----|----|----|------|----|-----|----|-----|----|--------|---|
| 庭生活 | 183 | 小屋 | 162 | ブーム | 139 | 言い | 118 | 口販機 | 97 | 初仕事 | 85 | 俄式 | 72 | 又の愛人 | 51 | 披露宴 | 31 | 結婚式 | 10 | 主な登場人物 | 7 |
|-----|-----|----|-----|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|----|----|----|------|----|-----|----|-----|----|--------|---|

**NOT FOR  
PUBLIC RELEASE**

|    |   |     |      |     |      |       |     |     |    |     |     |
|----|---|-----|------|-----|------|-------|-----|-----|----|-----|-----|
| 拷問 | 罨 | 展示品 | 身代わり | 土き餌 | 地獄の島 | 夢のつづき | 切けて | 表切り | 木馬 | 里帰り | 黒い影 |
| 4  | 4 | 4   | 3    | 3   | 3    | 3     | 2   | 2   | 2  | 2   | 2   |
| 9  | 5 | 2   | 6    | 6   | 3    | 0     | 8   | 6   | 5  | 4   | 2   |
| 1  | 5 | 7   | 9    | 3   | 6    | 7     | 5   | 3   | 3  | 3   | 4   |

**NOT FOR  
PUBLIC RELEASE**

奥付 553  
残された構図

517

**NOT FOR  
PUBLIC RELEASE**

## 主な登場人物

わたし 丸木戸恵梨香 二十歳

臭っ白な肌、スポーツは苦手な方。かなりドジ。

川栄介 四十歳

恵梨香の亡き母の弟、叔父。

不戸岩之助 五十歳。

恵梨香の父。

恵梨香の母・菊江の遺志をついで独身。

古木厚子 二十二歳

丸木戸岩之助の愛人。

**NOT FOR  
PUBLIC RELEASE**

円城寺英夫

円城寺財閥の御曹司。

野知男 五十四歳

丸木戸家の執事として長年仕えてきた。

野シズエ 五十七歳

知男の妻。料理が得意。

野昭彦 十九歳

知男の息子。

藤木武雄 六十歳

住み込みの運転手。

赤目重吾 二十歳



**NOT FOR  
PUBLIC RELEASE**

昭彦の知り合い

申田 ヨガ・ダンス教室の男。

ブン・シスターズ マイア、ムーン、エレクトラ、  
ルシオーネ、セレーノ、ステロペ、メローの七人

恵梨香の友だち

恋、紗希、彩、奈穂美

恵梨香の婿の候補

円城寺英夫、鴻ノ巣源一郎、時東俊輔、阿部川房雄、

水樹友也、望月清剛

## 結婚式

「とうとう、ここまでできたね」

昭彦様！」

控え室。純白のウエディングドレスを着せられたわし。父や、メイクさん、係の人たちがいなくなったころに、突然、彼が現れたのです。もしかすると、つと前からそこにいたのかもしれない。

わたしは鏡を前にして、父と話したり、円城寺家の人と話をしたり、シズエさんと話をしたりして、とても忙しかったから……。その間にドレスを着て、髪を直し、メイクをし、すっかり花嫁になったの

**NOT FOR  
PUBLIC RELEASE**

です。

そこに昭彦様がいるのです。

涙があふれてきました。泣くまいと決めていました。とうとう、限界を超えていました。それに、どうでも昭彦様に確認しなければいけないことがあります。た。

ドMのゴキはお嫁に参ります。でも、昭彦様のご命ならどんなことでも従います。本当にこれでいいのでしょうか？」

「ふふふふ」

ステキな、そして冷たい微笑み。

「恵梨香。おまえは嫁に行くんだ。ドMのゴキとして

ね」

「はい」

それがご命令であるなら。

「ただ、おまえの正体は多くの人に知られているんだ。これが、まともな結婚ではないことぐらい、わかたろう？」

「そうでしょう。」

「辛福な花嫁のはずがないのです。」

「もう、おれとおまえの関係はわかったはずだ。どれだけ愛し合ったところで、この世では決して結ばれない。少なくともみんなに祝福される結婚など不可能だ」

わたしは昭彦様と異父姉弟であることを、考えない  
ようにしていました。鏡の中にいる昭彦様とわたし。

どことなく似ている共通点。それはマゾの血に狂って、  
畜である父や叔父たちから日々、拷問調教を受け、  
彦様を出産しながら絶命した母の面影なのです。

どうやら、恵梨香には母の血がすべて引き継がれた  
っだな。だが、おれは父である牧野の血しか感じら  
ない」

それはサデイストの遺伝子。わたしは生まれたとき  
から、昭彦様の玩具となる運命だったのではないでし  
ょうか。生まれたというよりも、生ませられたのです。  
オモチヤとして。

明るい色のタキシードを着た円城寺英夫と叔父の東川栄介が静かにやってきました。

昭彦様はニヤリと笑って、さっと一歩下がります。

昭彦君。気持ちには決まったかな？」

叔父が彼に軽い調子でたずねました。

はい。決めました。父も賛成してくれましたので、

ひお世話になろうと思います」

それはよかった。英夫君も心強いでしょう」

ええ。ホツとしました」

なにを決めたのか、わたしには教えてくれません。

昭彦様は叔父と円城寺家の関係で、なにか仕事を得たようです。彼は執事としての道を歩むつもりなのかも

NOT FOR  
PUBLIC RELEASE

奥付

お読みいただき、ありがとうございました。

二〇〇年十二月刊行 第一版

著作権 あんぷらぐ（あんぷらぐど）（荒縄工房）

縄工房の情報は下記サイトへ

ブログ「荒縄工房」

●ホームページ

荒縄工房 SM研究室

●今日も上機嫌ってわけないだろ

コメント、メッセージ歓迎。「意見、感想、提案など随時、ブログで受付中。」